paloalto NETWORKS

HITACHI
Inspire the Next

次世代ファイアウォール
Palo Alto Networks PAシリーズ

危険なアプリケーションや標的型攻撃が引き起こす
情報漏洩を1台で防止。

株式会社 日立ソリューションズ

Palo Alto Networks PAシリーズが実現する情報漏洩対策です。

アプリ・ユーザー識別 → 通信の限定
コンテンツチェック → マルウェアの対策
ログ解析 → ネットワークの状況把握

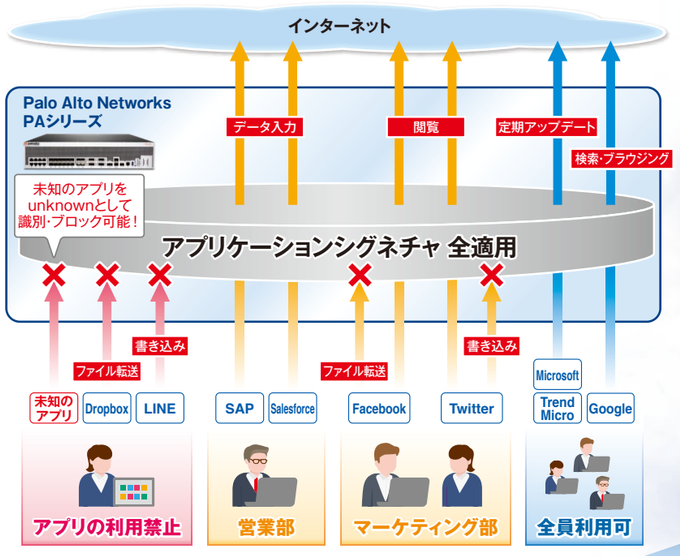
【Palo Alto Networks PAシリーズ 処理の流れ】

ポイント1 ユーザーごとに、情報漏洩につながる危険のあるアプリケーションの利用を制御

禁止したいアプリケーションのみを遮断し、認められたアプリケーションを特定のユーザーのみに許可します。

■アプリケーション制御（特許技術）
ポート、プロトコル、SSL暗号化の有無にかかわらずアプリケーションを識別し、アクセスコントロールすることができます。

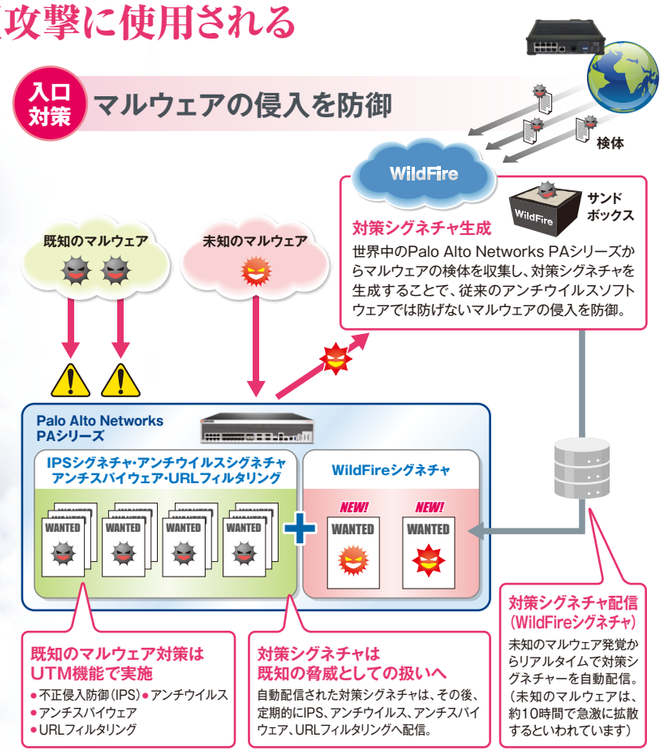
■ユーザー識別
ネットワークの通信をIPアドレスではなく、ユーザー名で識別し、アクセスコントロールすることができます。



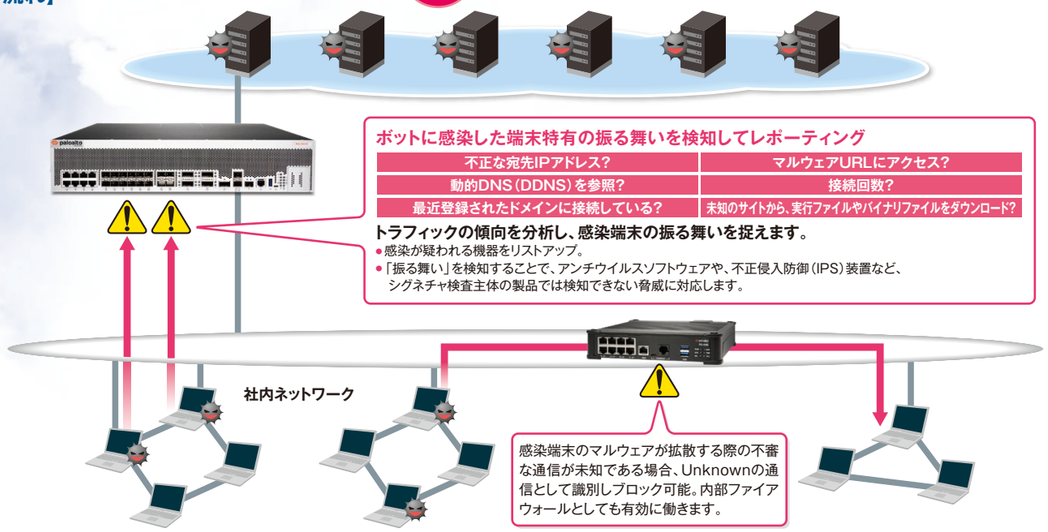
ポイント2 情報漏洩を引き起こす可能性のあるマルウェアを防御

独自の入口・出口対策で標的型攻撃に使用される未知のマルウェアを防ぎます。

入口対策 マルウェアの侵入を防御



出口対策 ボットネットを検知し、マルウェアの拡散を防止



ポイント3 ネットワークのリスクの見逃しを防止

ログ解析により、ネットワーク状況を把握できます。統合管理によるログの長期保存や設定の一括管理が可能です。

■アプリケーション可視化
アプリケーションの利用者・利用状況を、一覧表示などで容易に把握。暗号化されたHTTPアクセスも可視化可能です。

■レポート機能
- Palo Alto Networks PAシリーズ1台でも、内部ストレージに保存したログを解析してレポートを作成できます。
- レポートをスケジュール化して、メールで管理者に送信することで、管理画面にアクセスすることなく、ネットワーク状況を把握できます。

- 複数台のPalo Alto Networks PAシリーズのログを一括収集できます。
- 煩雑なログの管理を容易にし、ログのフィルタリングも自由自在に行えます。
- ログ容量を増設することにより、ログの長期保存にも対応できます。

統合管理製品（Panorama）

アプライアンス版（M-700）
- 最大48TBまでのログ容量を実現。
- ハードウェアとソフトウェアを一体化させることで保守をシンプル化。

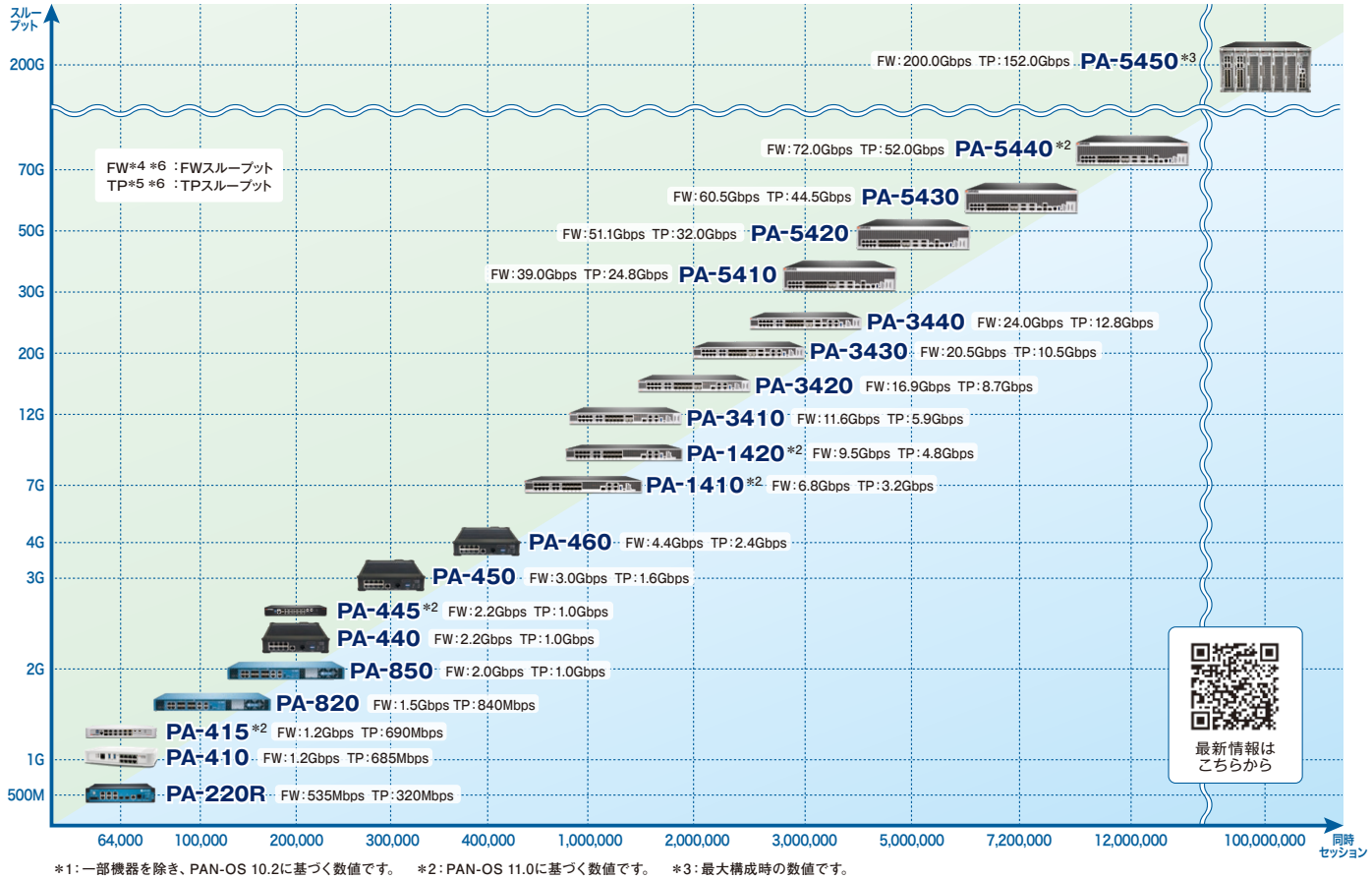
ソフトウェア版（VMアプライアンス）
- 仮想ディスクを柔軟に追加することができ、標準の2TBから、最大24TBまでのログ容量を実現。

統合管理製品（Panorama）からもメールで自動配信が可能！

お客様のセキュリティ状況を分析し、レポートをご提供

リスク分析レポートは、Palo Alto Networks PAシリーズをお客様のネットワーク環境に持ち込んで実施した、セキュリティリスクの分析とその対策を記載した20ページのドキュメントです。
本レポートをご覧いただければ、Palo Alto Networks PAシリーズの“価値”をご理解いただけるはずです。
詳細は https://www.hitachi-solutions.co.jp/paloalto/sp/advantage/risk_analysis.html へ

■Palo Alto Networks PAシリーズ ラインアップ *1



*1：一部機器を除き、PAN-OS 10.2に基づく数値です。　*2：PAN-OS 11.0に基づく数値です。　*3：最大構成時の数値です。
*4：L4ファイアウォールおよびアプリケーション識別を有効にした際の数値です。
*5：アンチウイルス機能、アンチスパイウェア機能、不正侵入防御機能、URLフィルタリング機能など、各種UTM機能を有効にした際の数値です。
*6：Palo Alto Networksによるappmixにおける測定値となります。appmixとは同社が実環境通信を意図して構成した測定用パケットデータです。

■仮想アプライアンス製品仕様

製品名	VM-Series	
	最小構成時*7	最大構成時*7
仮想CPU	2vCPU	32vCPU
仮想メモリ	4.5GB	56GB
FWスループット*8	3Gbps	28Gbps
TPスループット*8	1.5Gbps	20Gbps
同時セッション	50,000	10,000,000

*7：VM-Seriesは、保守などを含めたライセンス（クレジット）を必要数購入する必要があります。
　搭載するクレジット数、仮想CPU、仮想メモリーを調整することで、性能を調整することが可能です。
*8：PAN-OS 10.2に基づく数値です。またSR-IOV有効時の数値です。
　パフォーマンスは、ハイパーバイザ種別や仮想化支援機能の有無で変動します。

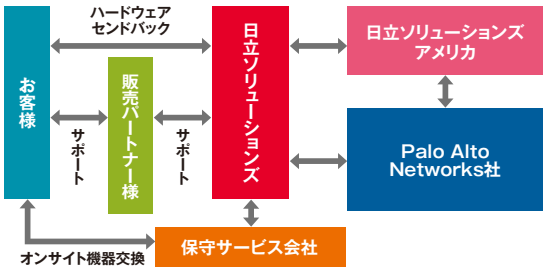
■統合管理製品仕様

製品名	M-300	M-700
筐体		
管理インタフェース	RJ-45(100/1000/10G)(×2) DB9コンソールシリアルポート(×1)	RJ-45(100/1000/10G)(×2) DB9コンソールシリアルポート(×1) 10G SFP+(×2)
ログ容量	16TB(RAID1構成)	16～48TB(RAID1構成)
電源	電源冗長　800/1200W AC電源	

Palo Alto Networks社の製品・技術を熟知した日立ソリューションズが提供します。

セキュリティ分野の主力製品をこれまで多数取り扱ってきたソリューションプロバイダー、
日立ソリューションズの「経験、実績、技術、ノウハウ」を生かし、
「国内初のPalo Alto Networks社認定の技術者」として、
PAシリーズのシステム設計から構築、運用までサポートします。

- 製品・技術を熟知したPalo Alto Networks社認定技術者が担当
- OSの検証など、十分な安全性確認を実施してからの出荷
- Palo Alto Networks社との密接な連携による包括的なサービスの実現
- 導入後の運用までトータルにカバーしたメニューの用意



株式会社 日立ソリューションズ
www.hitachi-solutions.co.jp

本カタログ掲載商品・サービスの詳細情報
www.hitachi-solutions.co.jp/paloalto/sp/

S08K-09-13　2023.08